

(第1号様式)

記載例

海外ビジネス展開支援補助金交付申請書

令和5年〇月〇〇日

公益財団法人 三重県産業支援センター理事長 様

住所が、履歴事項全部証明書と異なる場合は、記載例のとおり両方の住所を記入してください。

郵便番号 〒514-8570
住所 津市広明町〇〇番地
(本店 津市栄町〇丁目〇番地)
名称 株式会社〇〇
代表者 職・氏名 代表取締役 〇〇 〇〇 印

代表者の職名を忘れずに記入してください。
申請者の印(法人においては法人印)で押印してください。

令和5年度海外ビジネス展開支援補助金交付要領第7条第1項の規定に基づき、次のとおり補助金の交付を申請します。

必ず、【支出計画書】の補助金交付申請額と一致しているか確認してください。

1 補助金申請額

金 650,000 円

関係書類がすべて揃っているか、提出前にもう一度確認してください。

2 関係書類 (※提出時に、□へチェックしてください。)

- (1) 事業計画書 (第1号様式の2)
- (2) 支出計画書 (第1号様式の3)
- (3) 法人にあっては、履歴又は現在事項全部証明書の写し、個人にあっては、住民票抄本の写し (いずれの場合も、交付申請日から6ヶ月前以内に発行されたものの写し)
- (4) 役員等に関する事項 (第1号様式の4)

3 連絡先

担当者名	〇〇 〇〇		
電話番号	〇〇-〇〇-〇〇	FAX番号	〇〇-〇〇-〇〇
メールアドレス	〇〇@〇〇.jp		

(第1号様式の2)

事業計画書

※記入量の目安は2～4枚程度です。(適宜、拡張してください。)

1 企業概要

フリガナ	〇〇
名称	株式会社〇〇
資本金	500万円 (※個人事業者は記入不要)
業種	〇〇製造業
主たる製品又は商品	食品(〇〇)の製造販売
	自社のホームページアドレスがある場合は、下段にアドレスを記入してください。 URL https :
常時使用する従業員数	15人

※ 常時使用する労働者の数は、日雇労働者、パートタイマー等の臨時的労働者の数を含めて、常態として使用する労働者の数をいいます。

2 海外販路拡大等に係る計画内容

(1) 海外販路拡大等に係る状況

※該当項目に○をする。

<input type="checkbox"/> 1 今回初めて海外販路拡大等に取り組む	<input type="checkbox"/> 2 過去に海外販路拡大等に取り組んでいたが休止しており、今回改めて取り組む
<input checked="" type="checkbox"/> 3 既に進出している国・地域以外の新規国・地域の販路拡大に取り組む	

上記で2又は3を選択した申請者のみ ※該当項目に○をする。

<input checked="" type="checkbox"/> 令和2年度、令和3年度「海外サプライチェーン多元化・販路拡大支援補助金」、令和4年度「海外ビジネス展開支援補助金」の交付を受けた。
<input type="checkbox"/> 令和2年度、令和3年度「海外サプライチェーン多元化・販路拡大支援補助金」、令和4年度「海外ビジネス展開支援補助金」の交付を受けていない。

※令和2年度、令和3年度「海外サプライチェーン多元化・販路拡大支援補助金」、令和4年度「海外ビジネス展開支援補助金」の交付を受けた中小企業・小規模事業者等については、以下(2)計画内容(3)事業の成果目標において、過去の補助事業との違いがわかるように記入してください。

(2) 計画内容 ※他の補助金の交付を受けている事業と同一内容は認められません。

計画のテーマ	タイへの販路拡大に向けた「〇〇展示会」の出展		
対象国・地域	タイ	複数国の記入可	
【現状の課題】			
<p>当社は〇〇年に創業、〇〇年に株式会社へ移行。主に食品（〇〇）の製造販売をしており、これまで国内のスーパーを中心に販路開拓を進めてきたが、将来的な国内の人口減少、消費の落ち込みは明らかであり、必然的に海外市場の販路開拓に取り組む必要がある。</p> <p>令和4年度に、「海外ビジネス展開支援補助金」の採択を受けて、従来の中国への輸出に加えて、親日的で日本食の人気も高いタイへの販路拡大を目指し、タイの〇〇展示会に出展した。</p>			
【事業目的及び課題を解決するための具体的な事業内容】			
<p>展示会では、現地バイヤーや当初の販売代理店となる企業と商談を実施したが、商品自体への評価は良かったが、商品パッケージへの反応や評価が高くなかった。このため、商品パッケージのデザインを改良して、再度、〇〇展示会へ出展する。</p>			

(3) 事業の成果目標（見込まれる効果）

前回接触のできた現地の食品業界関係者へ再度アプローチを行い、当社の販売代理店等になりうるビジネスパートナーとの契約を目指す。

契約締結により今後の事業計画として、次のような販売計画を目標とする。

	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
タイ	—	〇万円	〇万円	〇万円
国内	〇万円	〇万円	〇万円	〇万円

販売計画の根拠は、次のとおり。

- ・市場規模は、・・・・・・・・。
- ・当該市場におけるシェアの目標として、・・・・が期待できる。

(4) 実施スケジュール

(実施時期は、令和5年7月～令和6年1月の期間で記入してください。)

番号	計 画	
	実施項目・内容	実施時期
1	〇〇展示会出展準備（出展申し込み、資料等の翻訳等）	令和5年7月～10月
2	タイ向け新商品の包装パッケージの試作	令和5年7月～10月
3	〇〇展示会出展（開催期間〇月〇日～〇月〇日）	令和5年11月
4	〇〇経費の支払完了	令和6年1月

実施時期は、必ず、交付決定予定時期（7月）から事業期間（令和6年1月）までで作成して下さい。

(5) 海外渡航計画 ※補助対象経費に展示会・商談会にかかる海外旅費を含む場合、出国から帰国の期間の旅程（航空機搭乗による出国～帰国まで）

日付	時間※	スケジュール	備考
1日目 9月12日	0:20	中部国際空港発～スワンナプーム空港着	ANA NH850 便
	7:45	スワンナプーム空港発～バンコク着	タクシー移動
	11:00	ホテルチェックイン（バンコク市内）	
2日目 9月13日	8:00	ホテル発～商談会会場 (IMPACT Muang Thong Thani) 着	
	10:00	商談会参加（1日目）	
	17:00	商談会会場発～ホテル着(バンコク市内)	
3日目 9月14日	8:00	ホテル発～商談会会場着	
	10:00	商談会参加（2日目）	
	17:00	商談会会場発～ホテル着(バンコク市内)	
4日目 9月15日	5:00	ホテルチェックアウト	
	5:00	バンコク発～スワンナプーム空港着	
	9:45	スワンナプーム空港発～中部国際空港着	ANA NH495 20:10 着

※現地時間（国際移動にかかる時間は出発時点の現地時間）でご記入ください。

※搭乗予定の航空便が決まっている場合、航空会社・便名を備考欄にご記入ください。

(第1号様式の3)

支 出 計 画 書

【消費税区分】※いずれかに○を記入してください。

<input type="radio"/>	消費税課税事業者
<input type="checkbox"/>	免税事業者・簡易課税事業者

【支出内容】※課税事業者は税抜で記入してください。(免税・簡易課税事業者は税込)

経費区分	支出内容	単価×数量[単位]	補助対象経費
展示会・商談会参加費	展示会出展料 (小間代)	200,000 円×2 ブース	400,000
展示会・商談会参加費	ブース造作委託費、什器リース代	200,000 円×1 式	200,000
展示会・商談会参加費	展示用商品の運搬費	100,000 円×1 式	100,000
展示会・商談会参加費	商談時の通訳費	100,000 円×1 式	100,000
広報費 (多言語)	タイ語の製品カタログ作成費	100,000 円×1 式	100,000
外注費	タイ向け商品の包装パッケージのデザイン費	200,000 円×1 式	200,000
海外旅費	タイ行き往復航空券	100,000 円×2 人	200,000
			円
(1) 補助対象経費合計		補助金交付申請額は、補助対象経費合計に 1/2 を乗じて千円未満切捨ての金額を記入してください。	1,300,000 円
(2) 補助金交付申請額 (千円未満切捨)			650,000 円

※ 経費区分は、令和5年度海外ビジネス展開支援補助金交付要領別表2「補助対象経費」に掲げる「補助対象経費」の名称を記入してください。

※ 上記(2)「補助金交付申請額」は、上記(1)「補助対象経費」の1/2以内で上限100万円です。

※ 海外旅費の補助対象経費に占める割合は、補助対象経費総額の2分の1を上限とします。

(第1号様式の4)

役員等に関する事項

役職名	氏名	フリガナ	生年月日 (元号で記入してください)	性別
代表取締役	三重 太郎	ミエ タロウ	昭和 60 年 12 月 31 日	男
専務取締役	三重 花子	ミエ ハナコ	昭和 40 年 3 月 3 日	女
常務取締役	津 一郎	ツ イチロウ	昭和 43 年 8 月 3 日	男
監査役	伊賀 忍	イガ シノブ	昭和 45 年 11 月 3 日	女
法人の場合は、履歴事項全部証明書に記載の全員の方を記入してください。 また、生年月日は、「元号」でお願いします。				
個人事業主の場合は、代表のみ記載してください。				
代表	三重田 次郎	ミエダ ジロウ	昭和 35 年 10 月 10 日	男

注) 次に掲げる者を記載してください。

ア 法人にあっては、非常勤を含む役員、支配人、支店長、営業所長及びその他これに類する地位にある者並びに経営に実質的に関与している者

イ 法人格を有しない団体にあっては、代表者及び経営に実質的に関与している者

ウ 個人にあっては、代表者